



1. 気象特別警報・警報・注意報dataの取得

①リクエスト

リクエストURL (http, httpsでのリクエストが可能)

●リクエスト (例)

①気象庁の「二次細分区域 (※1)」を指定するリクエスト

`https://fspweb03.halex.co.jp/xwimage2/pd?sid=point-warn2&mode=s&code=0123400`

②緯度経度を指定するリクエスト

`https://fspweb03.halex.co.jp/xwimage2/pd?sid=point-warn2&mode=s&lat=35.689&lon=139.692`

③日本全国の特別警報・警報・注意報を一括して取得する場合のリクエスト (発表されている二次細分区域の情報のみレスポンス)

`https://fspweb03.halex.co.jp/xwimage2/pd?sid=point-warn2&mode=s&code=all`

■認証

HTTPヘッダーのAuthorization項目にアクセスキーを記載して送付することで認証します。
 またはURLへの指定も可能です。(～&key=xxx)

■リクエストパラメータ

No	パラメータ	内容	記述	省略
1	sid	サービスID	point-warn2: JSONレスポンス point-p-warn2: JSONPレスポンス	不可
2	mode	レスポンス種別指定	s: 特別警報・警報・注意報の発表等の状況ステータスをレスポンス all: 特別警報・警報・注意報の発表等の状況ステータスと3時間毎に予測された現象の推移をレスポンス	不可
3	code	二次細分区域コード (※2)	半角数字7桁: 指定した二次細分区域の情報をレスポンス all: 日本全国で発表されている全ての二次細分区域の情報をレスポンス ※未発表状態の情報は格納しません ※「mode=s」指定時のみ「code=all」指定が可能となります	不可 (「3」、「4・5」、「6」のいずれかの指定が必要、複数指定した場合、「3」>「4・5」>「6」を優先)
4	lat	緯度	例: 35.5729, 35.5 (世界測地系、10進法)	※rcodeを指定した場合、氾濫情報のみ出力
5	lon	経度	例: 139.0035, 140 (世界測地系、10進法)	
6	rcode	氾濫予報区域 (※3)	半角数字12桁: 指定した氾濫予報区域の情報をレスポンス all: 日本全国で発表されている全ての指定河川洪水予報の情報をレスポンス ※未発表状態の情報は格納しません ※「mode=s」指定時のみ「rcode=all」指定が可能となります	
7	func	JSONPコールバック関数名	コールバック関数名を指定します。 ☆JSONPリクエスト時のみ有効 別途ご案内	省略可 (省略した場合、doJsonとなる)
8	key	アクセスキー		HTTPヘッダーにアクセスキーをセットする場合・・・不要 URL指定の場合・・・不可

※緯度・経度でのリクエストについて

パラメータを緯度・経度でリクエストした場合、「国土交通省 国土数値情報 行政区域データ」にもとづいた市区町村、およびこのデータをもとに作成した二次細分区域に該当する区域の情報をレスポンスします。
 リクエストした緯度経度が行政区近傍である場合、隣接した市区町村の情報がレスポンスされる場合があります。
 レスポンス可能な緯度経度は日本国内の陸地部分になります。国内での海上をリクエストした場合は提供範囲外になります。
 このような場合はパラメータを二次細分区域コード (※2) でリクエストしてください。

<補足>

※1. 気象庁の「二次細分区域」とは

気象警報・注意報の発表に用いる区域です。市町村 (東京特別区は区) を原則としますが、一部市町村を分割して設定している場合があります。

※2. 二次細分区域コードおよび二次細分区域名は別紙Aに記載します。併せてご確認ください。

※3. 氾濫予報区域および氾濫予報区域名は別紙Cに記載します。併せてご確認ください。

■本情報は気象に関する特別警報・警報・注意報になります。地震 (地震動)、津波、噴火に関する警報等は対象外です。

②レスポンス

別紙「API仕<レスポンスサンプル>」参照

構成と属性説明

構成		内容	詳細説明
area		指定した二次細分コードまたは緯度経度に該当する領域に対する情報部	
	code	気象庁「二次細分区域コード」(※2)	半角数字、7桁
	name	気象庁「二次細分区域名」(※1)	文字情報
	status	特別警報・警報・注意報発表状況部	
	“(コードNo)”	特別警報・警報・注意報名称対応コードと該当コードごとの発表状況コード	名称対応コード: 半角数字、2桁、 発表状況コード: 半角数字、1桁 (0~6)、 ※別紙B参照
	warn	警報注意報の詳細や危険度の時系列情報部	
	“(コードNo)”	特別警報・警報・注意報名対応コード	半角数字、2桁
	Name	特別警報・警報・注意報名	文字情報
	Status	発表状況	文字情報、(発表・継続・解除等)
	Condition	特に警戒すべき事項	文字情報 ※記載事項がないとき省略
	Addition	付加事項	文字情報、[]内に記載、複数の場合「,」区切り ※記載事項がないとき省略
	Text	注意警戒事項	文字情報、字数制限なし
	PublishingOffice	情報発表機関	文字情報、気象台等名称
	ReportDateTime	情報発表日時	半角英数、日本時間
	Properties	属性	危険度、予測値 詳細はProperties部の要素説明を参照のこと
TimeSeriesInfo		今後の推移や危険度の時系列情報部	詳細はTimeSeriesInfo部の要素説明を参照のこと
rarea		氾濫に関する河川情報部	
	warn	警報注意報の詳細や危険度の時系列情報部	
	“(コードNo)”	気象庁「予報区域コード」	英字、12桁
	name	気象庁「予報区域」	文字情報
	Text	注意警戒事項	文字情報、字数制限なし
	PublishingOffice	情報発表機関	文字情報、気象台等名称
	ReportDateTime	情報発表日時	半角英数、日本時間
	Status	特別警報・警報・注意報名対応コード	半角数字、2桁
	StatusName	特別警報・警報・注意報名	文字情報
	Condition	特に警戒すべき事項	文字情報 ※記載事項がないとき省略
point		提供する情報の行政等に関する情報部	
	name	市町村名(東京都特別区を含む)	文字情報
	code	市町村コード(東京都特別区を含む)	5桁数字
	pref	都道府県名	文字情報
	jmaURL	気象庁リンク	該都市町村の気象庁ページへのURL ※二次細分区域が分割されている市町村は統合されたページのURLになります。
sysinfo		提供元に関する情報部	
	copyright	情報提供元	文字情報、“株式会社ハレックス”固定
	editime	情報編集時刻	半角英数、日本時間
	title	表題	文字情報、“市区町村特別警報・警報・注意報”固定
	ver	バージョン情報	半角数字

☆json内の文字コードは<UTF-8>、改行コードは<LF>です。

☆一切の情報が発表されていない場合は、HeadlineText、PublishingOffice、ReportDateTimeの各部を省略します。

☆TimeSeriesInfo(※)部は mode=all の時にレスポンスします。

TimeSeriesInfoは発表されている警報注意報の要素・ステータスと非同期となります。

例: 大雨警報が発表されているが、TimeSeriesInfoに大雨の情報が無い。

大雨警報注意報が発表されていないのにTimeSeriesInfoに大雨の情報がある。

Properties部の要素について

構成	内容	詳細説明
Properties	気象警報・注意報種別ごとの量的予想	
Type	気象要素の種類	文字情報
SignificancePart	気象要素に対応した危険度の要素	
Significance		
Code	危険度に対応するコード番号	半角数字、2桁 ※1
Name	危険度名称	文字情報
type	気象要素の種類	文字情報
Attention	特記事項	文字情報
locals	対象区域部を示す	
AreaName	対象区域名（平地・山地等の属性名称）	文字情報
Significancies	対象区域部を示す	
Code	危険度に対応するコード番号	半角数字、2桁 ※1
Name	危険度名称	文字情報
type	気象要素の種類	文字情報
Attention	特記事項	文字情報
CriteriaPeriod	危険度の根拠となる基準到達に関する諸要素	
CriteriaClass		
Code	危険度に対応するコード番号	半角数字、2桁 ※1
Name	危険度名称	文字情報
Duration	予測期間	文字情報（PH●H：●時間）
Sentence	予測期間の文字情報	文字情報
Time	到達時間	半角、YYYY-MM-DDThh:mm:ss+09:00（日本時間）
locals	対象区域部を示す	
AreaName	対象区域名（平地・山地等の属性名称）	文字情報
CriteriaClass		
Code	危険度に対応するコード番号	半角数字、2桁 ※1
Name	危険度名称	文字情報
Duration	予測期間	文字情報（PH●H：●時間）
Sentence	予測期間の文字情報	文字情報
Time	到達時間	半角、YYYY-MM-DDThh:mm:ss+09:00（日本時間）
(Elements)	気象要素の種類	【設定値：情報】 WindDirectionPart：風向 WindSpeedPart：風速 VisibilityPart：視程 WaveHeightPart：波高（波浪） SnowfallDepthPart：降雪 HumidityParts：湿度 TidalLevelPart：潮位（高潮）
values	気象要素の値	文字情報
condition	気象要素の状態	文字情報
description	気象要素の説明	文字情報
unit	単位情報	文字情報
type	気象要素の種類	文字情報
time	到達時間	半角、YYYY-MM-DDThh:mm:ss+09:00（日本時間）
locals	対象区域部を示す	
AreaName	対象区域名（平地・山地等の属性名称）	文字情報
values	気象要素の値	
condition	気象要素の状態	
description	気象要素の説明	
unit	単位情報	文字情報
type	気象要素の種類	文字情報
time	到達時間	半角、YYYY-MM-DDThh:mm:ss+09:00（日本時間）

※ 1. 値と内容

50=特別警報級、30=警報級、20=注意報級、
 01=注意報級未満
 51=警戒レベル5相当、41=警戒レベル4相当、
 31=警戒レベル3相当、22=警戒レベル2相当、
 21=警戒レベル2、11=警戒レベル2未満、
 00=値なし

TimeSeriesInfo部の要素について

構成	内容	詳細説明
TimeSeriesInfo	今後の推移や危険度の時系列情報部	
name	市町村名（東京都特別区を含む）	文字情報
code	市町村コード（東京都特別区を含む）	5桁数字
Kind	時系列情報の種別部を示す	
Status	特別警報・警報・注意報発表状況部	
DateTime	開始年月日時	半角、YYYY-MM-DDThh:mm:ss+09:00（日本時間）
Properties	気象警報・注意報種別ごとの量的予想	
Type	気象要素の種類	文字情報
SignificancyPart	気象要素に対応した危険度の要素	
Significancies		
Code	危険度に対応するコード番号	半角数字、2桁 ※1
Name	危険度名称	文字情報
type	気象要素の種類	文字情報
refID	TimeDefine部に相当する時間帯ID	半角数字、2桁
locals		
AreaName	対象区域名（平地・山地等の属性名称）	文字情報
Significancies	対象区域部を示す	
Code	危険度に対応するコード番号	半角数字、2桁 ※1
Name	危険度名称	文字情報
type	気象要素の種類	文字情報
refID	TimeDefine部に相当する時間帯ID	半角数字、2桁
(Elements)	気象要素の種類	【設定値：情報】 WindDirectionPart：風向 WindSpeedPart：風速 WaveHeightPart：波高（波浪） PrecipitationPart：雨 SnowfallDepthPart：雪 HumidityPart：湿度 TidalLevelPart：潮位（高潮）
detail		
values	気象要素の値	文字情報
condition	気象要素の状態	文字情報
description	気象要素の説明	文字情報
unit	単位情報	文字情報
type	気象要素の種類	文字情報
refID	TimeDefine部に相当する時間帯ID	半角数字、2桁
locals	対象区域部を示す	
AreaName	対象区域名（平地・山地等の属性名称）	文字情報
detail		
values	気象要素の値	
condition	気象要素の状態	
description	気象要素の説明	
unit	単位情報	文字情報
type	気象要素の種類	文字情報
refID	TimeDefine部に相当する時間帯ID	半角数字、2桁
TimeDefine	時間帯区分	
timeId	時間帯ID（PropInfo/refIDが参照する）	半角数字、2桁
DateTime	開始年月日時	半角、YYYY-MM-DDThh:mm:ss+09:00（日本時間）
Duration	開始年月日時から経過時間	半角英数、PT3H=向こう3時間、PTD=向こう1日
Name	時刻帯名称	文字情報

※ 1. 値と内容

- 50=特別警報級、30=警報級、20=注意報級、
 01=注意報級未満
 51=警戒レベル5相当、41=警戒レベル4相当、
 31=警戒レベル3相当、22=警戒レベル2相当、
 21=警戒レベル2、11=警戒レベル2未満、
 00=値なし

3. エラー時のレスポンス

①エラー時のレスポンス例と構成

レスポンス例	<code>{"error": "ERR-111: 存在しない地点コードです。", "systemTime": "2017/02/13 13:42:58.731 JST"}</code>
構成	<code>{"error": "エラーコード:エラーメッセージ", "systemTime": "YYYY/MM/DD hh:mm:ss.sss JST"}</code>

②エラーコード一覧

No	エラーコード	エラーの内容
1	ERR-101	「key」を指定してください
2	ERR-111	地点コード不備（コード間違い、不正文字等）
3	ERR-112	提供範囲外の緯度経度指定
4	ERR-113	緯度経度不備（不正文字等）
5	ERR-114	氾濫予報区域コード不備（不正文字等）
6	ERR-115	code、緯度・経度、または rcode を指定してください
7	ERR-003	サービス指定エラー（sidパラメータが正しく入力されていない場合）
8	ERR-004	レスポンス種別指定エラー（modeパラメータが正しく入力されていない場合）
9	ERU-001	key指定エラー
10	ERU-002	keyの有効期限切れ

4. サーバアクセスに関する注意事項

- ・1レスポンスあたりのデータ容量は3～10KB程度（提供する情報内容によって異なる）となります。
code=allを指定した場合には、発表されている地点数にもよりますが800地点を超えると1MB以上となる場合もあります。
- ・サーバ負荷を極力低減するため、複数のリクエストをまとめて要求する場合は 20件/秒程度に抑えてください。

レスポンスサンプル

レスポンスイメージ (mode=all、code(二次細分区域コード)=「二次細分区域コード」を指定して全要素をレスポンスした場合の例)

レスポンスイメージ (mode=s、lat=緯度、lon=経度を指定してステータス情報のみを取得した場合の例)

サンプル「sample01_洪水なし.txt」

サンプル「sample02_洪水のみ.txt」

サンプル「sample03_洪水あり.txt」

レスポンスイメージ (mode=s、code(二次細分区域コード)=allを指定して日本全国分の特別警報・警報・注意報を一括して取得した場合)

サンプル「sample04_mode=s.txt」

レスポンスイメージ (mode=all、rcode(氾濫予報区域)=氾濫予報区域を指定してステータス情報のみを取得した場合の例)

サンプル「sample05_mode=s+r.txt」